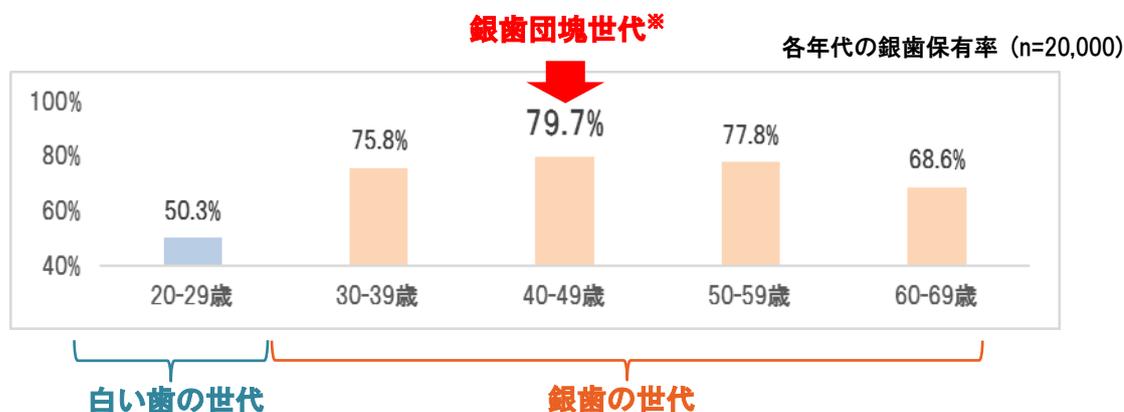


6月4日～10日は「歯と口の健康週間」
40代が最も銀歯が多い世代 約8割が保有
 銀歯の長期保有は、むし歯リスクが高い

スリーエム ヘルスケア株式会社(本社:東京都品川区 代表取締役社長:三村浩一)は、6月4日～10日の「歯と口の健康週間」に向けて、全国の20代～60代の一般男女20,000人に対し、銀歯(注)¹に関するオンライン調査を実施しました。調査の結果、全体で銀歯の保有率は71.2%でした。銀歯の保有が最も多かった世代は40代で、79.7%(40代男性:76.6%、女性:82.9%)が銀歯を保有していることが明らかになりました。さらに、10年を超えて銀歯を保有している人は全体で41.6%となりました。



※高橋英登先生のコメントより

“銀歯団塊世代”40代の歯科疾患リスクに警鐘！



高橋 英登 先生
 日本歯科医師連盟 副会長
 井荻歯科医院 院長

「今回の調査から、日本人の20代～60代の銀歯保有率は、7割以上であることが分かりました。これは、先進諸国では銀歯はほぼ皆無であることと比べ、非常に高い保有率であると言えます。約8割が銀歯を保有している40代は、“銀歯団塊世代”とも呼べ、さらに4割以上が10年を超えた銀歯を保有している、最も歯科疾患リスクの高い世代と言えます。

銀歯は年数が経過すると、酸化、劣化し、長期保有により、むし歯や歯周病などのリスクが高まります。銀歯を長期保有している方は、歯科医院で早めに検査することをお勧めします。

他の世代はむし歯が減少傾向なのに比べ、45歳以上では増加している(注)²ことから、40代の方は定期的な歯科予防および治療を心がけて頂いた方が良いでしょう。」

大人のむし歯の原因の一つは、「二次う蝕」*

大人のむし歯の特徴のひとつに、「二次う蝕」が挙げられます。銀歯等の、歯の詰め物と歯の間の隙間に細菌が進入し、むし歯が発生する可能性があるためです。このむし歯は、通常のむし歯よりも、歯の奥深くまで進行することが多く、神経に達するむし歯の原因になります(注)³。銀歯の長期保有者は、「二次う蝕」のリスクにさらされています。

*むし歯の治療に用いた歯の詰め物の裏側や周囲のむし歯

<調査概要>

■調査要項■

調査対象者

【調査1】:20代~60代の男女 20,000名 【調査2】:20代~60代の銀歯を保有している男女 1,030名

調査手法

オンライン調査

調査時期

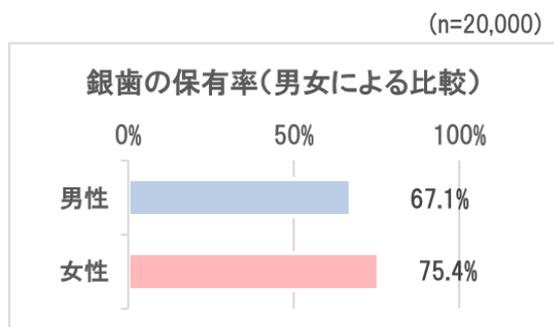
2014年5月

監修

日本歯科医師連盟 副会長/井荻歯科医院 院長 高橋英登先生

■ 男女比では女性が多く、40代女性が銀歯保有率最多で、82.9%

男女別に見ると、女性の銀歯保有率が男性に比べ高く、40代女性の銀歯保有率は、82.9%と最も高いことが分かりました。女性は妊娠・出産のプロセスに伴い、口の中の細菌のバランスが変化し、免疫力が落ちることで、むし歯に罹りやすくなることが明らかになっています。

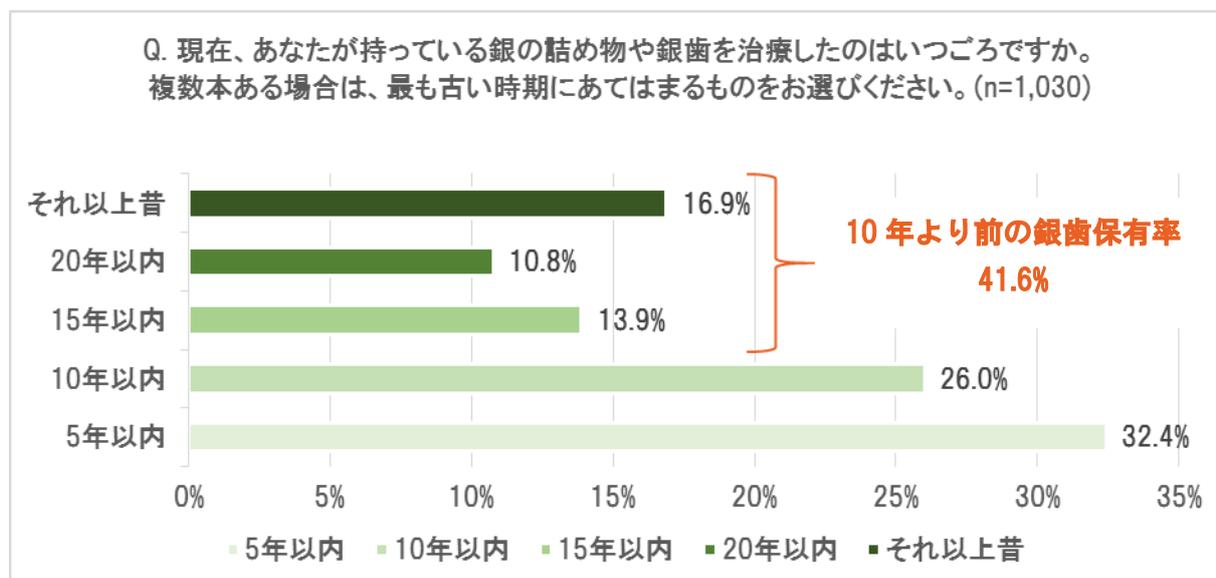


各年代の銀歯保有率(男女別)(%)

| | 男性 | 女性 | 全体 |
|--------|------|------|------|
| 20-29歳 | 44.3 | 56.5 | 50.3 |
| 30-39歳 | 71.5 | 80.3 | 75.8 |
| 40-49歳 | 76.6 | 82.9 | 79.7 |
| 50-59歳 | 74.1 | 81.4 | 77.8 |
| 60-69歳 | 64.7 | 72.2 | 68.6 |

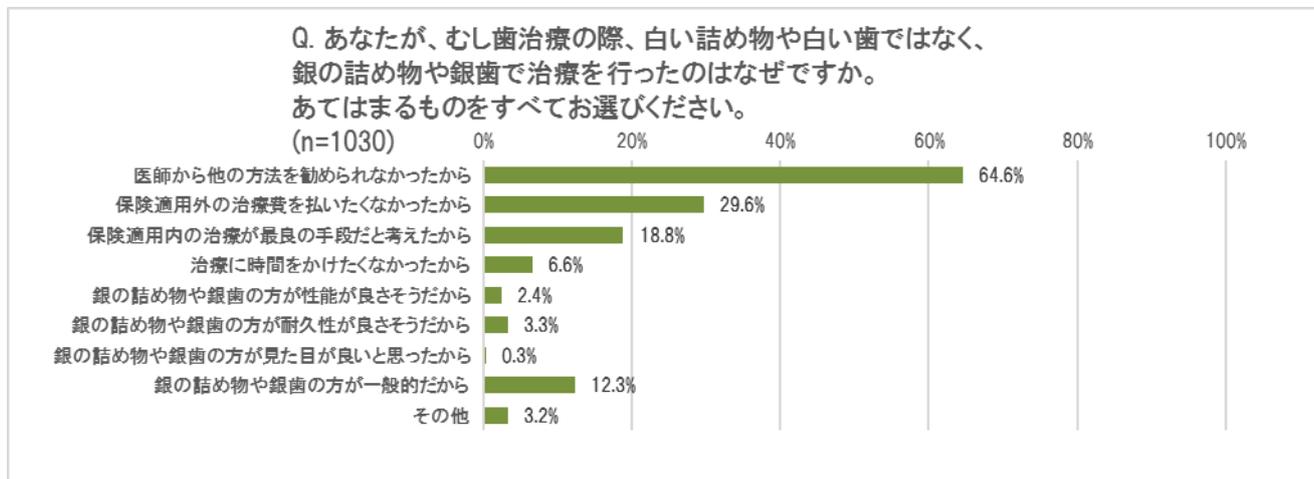
■ 41.6%の人が10年を超えて銀歯を保有

銀歯保有者のうち、銀歯治療を行ったのが10年より前と回答したのは、全体の41.6%でした。中でも、30代・40代の10年を超えた銀歯の保有率が特に高いことが明らかになりました。



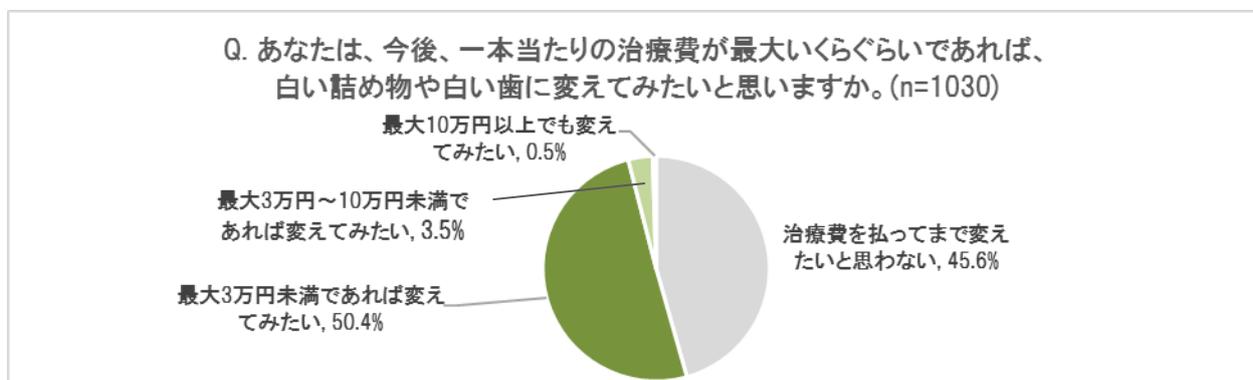
■ 銀歯の治療を行った理由は、銀歯以外の治療を勧められなかったから

全体で、銀歯を選んだ理由は、「他の方法は勧められなかった」が64.6%と最も多い結果となりました。また、銀歯保有者のうち、29.6%の人が、保険適用外の治療費を払いたくないことを理由に、銀歯を選んでいきます。



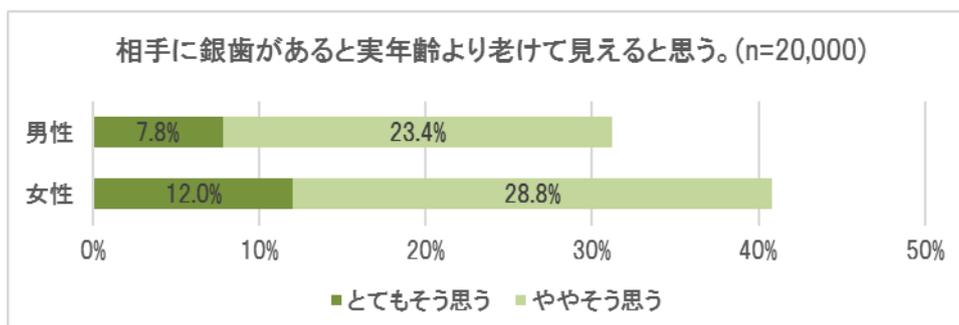
■ 白い歯の治療における3万円の壁

銀歯保有者に、白い歯の治療の意欲を聞いたところ、1本3万円以上の白い歯を入れてみたいと答えた人は4%であるのに比べ、1本3万円未満であれば白い歯を入れてみたいと答えた人は約50%でした。3万円以下になると治療への意欲が大きく増加することが分かりました。



■ 銀歯は、老けて見える！

40%以上の女性が、「相手に銀歯があると実年齢より老けて見える」と考えていることが分かりました。一方男性は、31.2%となりました。



なお、今回のアンケート調査結果の詳細は、スリーエム ヘルスケアの歯と健康を考えるサイト『Tooth!Navi』(<http://www.mmm.co.jp/hc/dental/consumer/>)に掲載しております。

「3Mの1日で白い歯」について



スリーエム ヘルスケア株式会社は、2013年より即日^{(注)4}かつ従来の治療費の半分以下という低価格で白いかぶせ物(クラウン・歯冠)を実現する世界初の歯科材料を販売しています。今回の調査で40代の歯科治療に対する意識として、81.7%が低価格の治療を望んでおり、80.3%が短期間での治療を望んでいることが分かりました。「3Mの1日で白い歯」は、歯科疾患リスクの高い40代のニーズを満たす最適な治療法の一つだと捉えられます。

注釈

- (注)1 銀の詰め物(インレー)または銀のかぶせ物(差し歯、クラウン)。
- (注)2 平成23年度 厚生労働省歯科疾患調査より。
- (注)3 厚生労働省 e-ヘルスネット 大人のむし歯の特徴と有病状況より。
- (注)4 支台歯(土台)に問題ない場合。

＜製品に関するお客様からのお問い合わせ先＞

スリーエム ヘルスケア株式会社 歯科用製品事業部

<http://www.mmm.co.jp/hc/dental/index.html>

TEL:0120-332-329

(受付時間 平日 9:00~17:00)